

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔 教育学部（第四類） 〕

プログラムの名称	(和文) 造形芸術教育副専攻プログラム
	(英文) Art Education
1. プログラムの紹介と概要 造形芸術教育副専攻プログラムでは，中学校教諭二種免許状（美術）を取得するために必要な，造形芸術教育に関わる基礎科目を提供することを目的とする。 本プログラムは中学校で美術教育を指導する際に必要な，造形芸術教育学，絵画，彫刻，デザイン，工芸，造形芸術学・美術史の教育とその内容に関する基礎・基本的な知識，能力，技能と態度を体系的に身につけ，生徒の発達段階，学習段階，興味関心に応じた授業を展開したり，学習意欲を引き出し発展的な学習を組織したりすることのできる教育実践力を持った人材を育成することを目標にしている。	
2. プログラムの到達目標 1) 造形芸術教育の教育内容に関連した基礎・基本的な能力を習得する。 2) 教科教育的思考を育成する。 3) 造形芸術教育の優れた実践力を習得する。	
3. プログラムの履修時期・要件 (1) 履修開始時期とプログラム登録時期 プログラム開始(選択)時期は，2年次である。 履修開始後の登録も可能である。 (2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等) 既修得要件は設定しない。 (3) 履修上の注意点 中学校教諭二種免許状（美術）を取得するために必要なその他の科目は，取得希望者が教育職員免許法第5条表1（学生便覧参照）に示された必要単位を履修すること。	
4. 教育内容・構造 (1) 修了に必要な単位数 18単位 (2) プログラムの構造 芸術教育学概論，美術科教育方法・評価論，絵画表現論，絵画表現実習基礎、彫刻表現論，彫刻表現実習基礎，デザイン概論，デザイン表現実習基礎，工芸表現論，工芸表現実習基礎，造形芸術基礎論	
5. 授業科目及び授業内容 ※授業科目は，別表を参照すること。 ※授業内容は，各年度に公開されるシラバスを参照すること。	
6. 評価 (1) 試験・成績評価	

授業科目の成績評価は、各授業科目における試験・成績評価基準に基づき、秀、優、良、可及び不可の5段階評価とする。

(2) 修了判定の基準

履修表に掲げる科目のうち、必要な単位数を取得すること。

7. プログラムの責任体制

責任者兼担当者： 造形芸術教育学講座の講座主任及び教育部会委員

担当者： 造形芸術教育学講座の教員全員

8. プログラムの受入上限数

若干名

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

9 単位

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

18 単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

○中学校教諭二種免許状(美術)の取得にかかわる申請及び受領に関する手続き等は、取得希望者自身でおこなうこと。

別表

造形芸術教育副専攻プログラム 履修表

科目区分	授 業 科 目	開設 単位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開設 学部	備 考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専門 基礎 科目	芸術教育学概論	②		2					18	教育学部	主専攻プログラムでは2セメ
	美術科教育方法・評価論	②		2							
	絵画表現論	②		2							主専攻プログラムでは2セメ
	絵画表現実習基礎	①	2								主専攻プログラムでは1セメ
	彫刻表現論	②	2								
	彫刻表現実習基礎	①	2								主専攻プログラムでは1セメ
	デザイン概論	②	2								
	デザイン表現実習基礎	①	2								主専攻プログラムでは1セメ
	工芸表現論	②		2							
	工芸表現実習基礎	①	2								
	造形芸術基礎論	②		2							主専攻プログラムでは2セメ
	合計								18		

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。
2. 表は履修開始学期を示す。